

岐阜県羽島市立羽島中学校

MCPC award 2008

特別賞

下校時の安全を見守る連絡システム

子どもに対する悪質な犯罪が増えるなか、岐阜県羽島市では携帯電話メールシステムを子どもの見守りに活用している。

同市は、以前から下校時に住民による児童見守り活動を展開するなど精力的な活動をしているが、児童の下校時間変更など急な連絡事項が発生しても、学校側から保護者や住民への連絡手段がなかった。そこで携帯電話を使った連絡手段

「e-みまもり隊」システムを2007年に立ち上げたのである。

羽島市の情報ネットワーク委員会の責任者を務めていた市立羽島中学校の横山隆光校長は「最近では携帯電話が普及し、多くの人が持ち始めています。これなら、学校からの急な情報が伝えられるし、お互いに連絡できます」と指摘する。

本システムでは、生徒を見守る立場の各小学校教職員、保護者・ボランティアがそれぞれIDとパスワードであらかじめ管理サーバに携帯電話アドレスを登録してもらう。

学校側は児童の下校時間を知らせるメールを送信。メールを受けた保護者・ボランティアの見守り隊は、担当する見守

業種	学校		
活用分野	生徒の安全な下校を支援		
キーテクノロジー	携帯電話メール	位置情報	ASP

りポイントを学校に返信して子どもを出迎え、安全を確認すると学校に報告のメールを送信する。その時子どもたちの様子など気づいたことを書き込むこともできる。通常のメールは定型文が用意されているので、送信にかかる手間は少ない。

学校と教育委員会側では、見守り活動開始の連絡が入るとパソコン画面で「見守りマップ」の地図上のポイントが赤から緑に変わり、視覚的に確認できる。

約10カ月間の実証実験の結果、お互いによく情報を共有して子どもたちの安全を守るという当初の目標が実現可能であることを確認できたという。



市立羽島中学校の横山隆光校長



学校からの下校お知らせメール

Profile

羽島市立羽島中学校

<http://www.hashima-gifu.ed.jp/hashimaj/>

所在地

岐阜県羽島市足近町7-455

事業内容

「志をもって 困難に立ち向かえ」を校訓とする